

Q15 家庭科における配慮

〈このような状態は自閉症の特性からきています。〉

調理や製作が大好きなAちゃんですが、教師の指示を聞かず、グループでの役割を無視して活動を始めることがあります。またそれを止めると、大声を出してパニックを起こすこともあります。

自閉症の子どもは、好きなことには固執し興味のあることに夢中になると、教師の指示もわからなくなることがあります。また役割を理解することも難しく、自分流のやり方での活動を好む傾向があります。さらに、調理や製作のための基本的な技能が未熟な場合もあります。

〈このような場合の支援 1〉

小学校6年生の知的障害を伴う自閉症の女兒。料理が大好きで、グループで調理をする時は、指示を聞かず作り始めてしまいます。このような場合、支援の方法としては以下のようなことが考えられます。

- ① 本人が学習の見通しを持ちやすいように、調理の手順を絵や図にして簡潔な言葉を添えて提示する。
- ② 役割がわかるように、本人の写真または名前カードを、分担するところに貼る。
- ③ 手順を細かく区切りながら、教師が実演または、手を添えて一緒にやってみせる。
- ④ グループ編成の配慮としては、本人に優しく声かけをしたり、できるところを見守ってくれる子どもたちと一緒にする。

〈このような場合の支援 2〉

小学校5年生のアスペルガー症候群の男児。アスペルガー症候群に併存しやすいこととして不器用さもあり、裁縫の学習等で少しでも失敗すると、いらいらしてすぐに放棄してしまいます。このような場合、支援の方法としては以下のようなことが考えられます。

- ⑤ 集中力に合わせて作業工程を細分化し、一つの工程が短時間で終わるようにする。
- ⑥ 見通しを持ちやすいように工程表を提示し、できたら順次シールを貼る。
- ⑦ 教師が実演する場合は、大きな縫い目で目立つ色の糸でモデルを示す。
- ⑧ 大きな穴の針や糸通しの活用。教科書にとらわれず、本人のやりやすい方法でも認める。
- ⑨ パニックを起こした時は、決して無理強いをせずにその場から離す。落ち着く様子が見られたら、その際に励まして再度学習に取り組むよう促す。

学級担任の記録(メモ)

<項目の利用回数>



月／日	対象児の問題	教師やクラスの子どもの対応	対応後の対象児の様子